

SHOAH ホロコースト

人として、なぜそのような
ことができたのか

人として、なぜそのようなことができたのか

1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945

SHOAH ホロコースト

人として、なぜそのようなことができたのか



2年生の体育の授業、1933年ラトビア共和国、リガにて
写真に写っている37人中7人のみがホロコーストを生き延びました。

「SHOAH（ホロコースト）」。ホロコーストは、ユダヤ民族絶滅を目的とした、ナチスドイツとその協力者による大掛かりかつ組織的な、それまでに前例のない大量殺戮でした。その主たる動機はナチス反ユダヤ主義の人種差別的なイデオロギーです。1933～1941年までの間、ナチスドイツはユダヤ人に焼印を押し、一定地区に狩り立て権利と財産を没収する政策を推進しました。この政策はドイツ国内とナチスドイツに占領されたヨーロッパの大半の地域で幅広い支持を得ました。1941年、ナチスドイツのソビエト連邦侵攻以降、ナチスとその協力者はユダヤ人に対して組織的根絶政策を開始しました。1945年までに、およそ600万人のユダヤ人が虐殺されたのです。

人として、なぜそのようなことができたのか

私は純朴であり、その日、あなたと同じように限りある命を生きる者であった、
ということだけは覚えておいてほしい。
私も、激しい怒り、同情心や喜びを表す顔を持つ、つまり人間の顔をしていたということをも！

バンジャマン・フォンダーヌ、アウシュヴィッツ・ビルケナウにて虐殺される、1944年



アメリカ合衆国ホロコースト記念博物館（ワシントンD.C.）

二つの世界大戦の間のユダヤ人の生活。 ほぼ2000年にわたり、ユダヤ民族は諸国民のはざままで少数民族として暮らしてきました。近代において、ユダヤ人は平等な市民権獲得に向けて努力し、政治運動に参加し、近代化の促進過程を経てきました。

あらゆる生活形態に溶け込み、共に暮らす諸国民と運命の分かち合いを願いつつ、ユダヤ人は自身の宗教上、そして国民的独自性を守り、自分たちを取り巻く文化を豊かにしてきました。



ゲットー・ファイターズ・ハウス アーカイブ
(Lochmei Hageta' ot Kibbutz, イスラエル)



ホロコースト記念博物館
アメリカ合衆国（ワシントンD.C.）



ヨセフ・イェクティエリ・マッカビ・スポーツアーカイブ
(Kfar HaMaccabiah, イスラエル)



人として、なぜそのようなことができたのか

1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945

どれだけ多くの人々が救世主として彼（ヒットラー）を崇拝しているのか.....学者、聖職者、労働者、失業者、群衆を国家に引き戻し救済する、という男のことを。

ルイーゼ・ゾルミッツ、ドイツ人教師 1933年



支持者に囲まれるアドルフ・ヒットラー、1930年代、ドイツ。

ドイツにおけるナチズムの台頭。第一次世界大戦（1914～1918年）の余波を受け、ヨーロッパは政治的、経済的、社会的な変革の時代を迎えます。さまざまなイデオロギー活動は、一方では国家や人種に、他方では社会階層に関わり、完全な優位性獲得を目指しつつ、右派左派の双方から生じるリベラルな価値観に対して急進的な選択肢を与えました。それと同時に、民族国民国家の建設は、ヨーロッパにおける少数民族の中でも特に背信や国家への

脅威を理由に度々糾弾されてきたユダヤ人の地位を弱めたのです。ドイツでは、この過程でアドルフ・ヒトラー指揮下の国家社会（ナチ）党が次第に力を強めました。1933年、民主的選挙の結果、保守派の支持を得てナチスは台頭し、全体主義、人種差別主義、反ユダヤ主義的な急進政策を即座に開始したのです。



ユダヤ人は軍役から逃げていると主張する反ユダヤ主義のプロパガンダに対抗するため、1万2000人もユダヤ人兵士が第一次世界大戦で戦死したことを強調するドイツ系ユダヤ人退役軍人会（RJF）のポスター

私のフィアンセは1914年に戦死しました。私の兄弟のマックス・コーンとユリウス・コーンは1916年、1918年に戦死しました。残った兄弟ウィリーは盲目となり帰還しました...3人とも国家に対する軍務に鉄十字勲章を授与されました。しかし今や...「ユダヤ人、出て行け!」と書いてあるパンフレットが通りでは配られているのです...ドイツ人全体の1パーセントでしかないユダヤ人を敵とする扇動は、勇気の証ですか、それとも臆病さの証ですか？

フリーダ・フリードマンからバウル・フォン・ヒンデンブルク大統領への手紙、ドイツ 1933年2月



ラビであるアキーヴァ・ボスナーとラヘル・ボスナー家
窓ぎわのハヌカメノラー キール、ドイツ

人として、なぜそのようなことができたのか

1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945



アーリア人のみが...「人間」という言葉によって我々が理解する全ての原型を表している。ユダヤ人は人間にあらず。

アドルフ・ヒトラー

ナチスによる反ユダヤ主義ポスター
ユダヤ人が世界支配を目指す寄生虫的な存在として描かれている。

ナチスの反ユダヤ主義イデオロギー。人種差別的反ユダヤ主義の世界観に基づくナチスのイデオロギーは、ユダヤ人が人間存在の根幹を害し、弱体化させる破壊的な人種である、と理解していました。ヨーロッパの伝統的反ユダヤ教がそうであるように、ナチスはユダヤ人とユダヤ教

を、世界支配を企み、社会革命を扇動し、共産主義を煽り、搾取的資本主義を助長し、そして民主主義国家をそそのかす悪魔的な力と見なしたのです。ナチスはドイツ人を支配民族とし、ドイツ人の指揮下で新しい世界秩序の創造を目指しました – それは、ユダヤ人のいない世界です。



ヤーコブ・ファイベルマン
イルマ・ファイベルマン

ヤーコブ・ファイベルマンは、繁盛するアルミホイル製造工場のオーナーであり、バイエルン州メミンゲンの市議会議員でした。ヤーコブは第一次世界大戦中、士官としてドイツ軍に従軍しました。ナチス政権の台頭後、ヤーコブは逮捕されましたが、地域社会における地位のおかげで最終的には釈放されました。同じ時期、娘のミリアムは学校における反ユダヤ主義の嫌がらせに悩まされ始めます。1934年、ヤーコブは匿名の憎悪に満ちた葉書を毎週受け取るようになりました。ファイベルマン家は全部で46通のそのような葉書を受け取りました。1935年、ヤーコブ・ファイベルマンと家族はイスラエルの地に逃がれました。



「啓蒙の成果
彼の隣に嵌まる少女はもういない
今後、彼は一人で酒を飲む」

「いつになったら生意気なユダヤ人のお前たちは
パレスチナに帰るつもりなんだ？」



人として、なぜそのようなことができたのか

1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945

これはドイツ的なもの全てからの私の別れの言葉です。祖国であったものからの私の内なる別れの言葉...
私は、もはやドイツ人であることができなかったのです。

イスラエルの地に移住したドイツ系ユダヤ人、エドウィン・ランダウの回顧録より



フランクフルト・アム・インで燃やされるホロヴィッツ・シナゴークを傍観するドイツ市民。水晶の夜（クリスタルナハト）暴動時
1938年11月10日 ドイツ

ナチス政権下の帝国ユダヤ人。ナチスは1933年に権力を握るとすぐにユダヤ人差別を助長するプロセスを開始しました。彼らは自分たちの周囲からユダヤ人を締め出し、経済的略奪を行いました。1935年、ニュルンベルク法によってユダヤ人のドイツ国籍は剥奪されました。1930年代、大勢のユダヤ人が自分たちを裏切った自国を離れ移住しようとしたましたが、亡命先を見つけることができたのはごく僅かな人々でした。その他の人々は、特に文化、教育、社会支援の分野でこれまでに代わる枠組みを構築し、ユダヤ人のアイデンティティーを深

めました。1938年、状況は悪化し、さらなる経済的略奪、ユダヤ人のドイツからの強制移住、そしてユダヤ人に対する暴力は増えてゆきました。これは11月の組織的な大虐殺－クリスタル・ナハト（水晶の夜）－において頂点に達し、ドイツ全土で多数のシナゴーク、ユダヤ人住居、そしてユダヤ人の事業所が放火され、破壊されました。大勢のユダヤ人が逮捕され強制収容所に移送され、多数のユダヤ人が虐殺されました。ドイツにおけるユダヤ人の生活はもはや不可能なものとなったのです。



ナチスはユダヤ人所有の店舗に告知文を掲げました：「ドイツ人たちよ！自分の身を守れ。ユダヤ人から何も買わない」1933年4月1日、ドイツ
1933年4月1日、ナチスは最初の全国的な反ユダヤ主義の活動－ドイツのユダヤ系市民を孤立させ、排斥するための周到な政策の一つ、経済ボイコット－を組織しました。
ドイツ国立資料館Bundesarchiv、コブレンツ、ドイツ



親密な関係を持ったことで公衆の面前で恥辱を受けているユダヤ人男性とキリスト教徒の女性。クックスハーフェン、ドイツ、1933年7月27日
1935年に制定された人種差別条令であるニュルンベルク法はユダヤ人とアーリア人の性的関係を禁じました。



難民、1939
フェリックス・ヌスバウム
1944年、アウシュヴィッツ-ビルケナウで虐殺される

人として、なぜそのようなことができたのか

1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945

これまでの人生で、その門の向こうの広場に私達の不幸を笑う通行人の幸せそうな笑顔を見た時ほど
酷い屈辱を感じた事はなかった。

ダウイド・シエラコウィアク、ウッチ、ポーランド、1939年10月4日
1943年にウッチ・ゲットーにて虐殺される



ユダヤ人の印、黄色い星を身に着けている女性たち、ウィーン、オーストリア、1941年
オーストリア国立図書館画像アーカイブ、ウィーン、オーストリア

ヨーロッパの占領。1939年9月1日、ドイツがポーランドに侵攻し、第二次世界大戦が勃発しました。2年のうちに、ドイツはヨーロッパの大半と北アフリカを制圧しました。ナチスはユダヤ人の居場所がない「新秩序」を指示しました。ユダヤ人は搾取され、虐げられ、権利は否定されました。

他の全住民から切り離され、強制労働収容所に暴力的に強制移送されたのです。ナチスは、ユダヤ人を迫害し、市民、社会、経済領域から完膚なく締め出すことを目的として、地方政府組織や官僚組織を動員することに成功したのです。



ユダヤ人の髪を切るスロバキア民兵たち、ストロブコフ、スロバキア、1942年5月21日



「黒い安息日（ブラック・サバス）」のユダヤ人の屈辱、サロニキ、ギリシャ、1942年7月11日

人として、なぜそのようなことができたのか

1933

1934

1935

1936

1937

1938

1939

1940

1941

1942

1943

1944

1945

突然、私達はあらゆる面で自分たちが檻に入れられた事に気づいた。
私達は隔離され、世界から切り離され...人類社会から追い出された。

ハイム A カプラン、ワルシャワ・ゲットー、ポーランド、1940年11月17日
トレ布林カ絶滅収容所で虐殺される、1942年8月



ワルシャワ・ゲットーの通りで飢餓に苦しむユダヤ人の子どもたち。ポーランド、1941年9月19日。

ゲットー。東ヨーロッパの多くの土地で、ナチスはユダヤ人専用計画された地域ユダヤ人を収監する段階的プロセスを開始しました。ゲットー、そこではドイツ人が先頭に構えユダヤ人の統率力を威圧しました。ゲットーでは極度の人口過密、飢餓、疾病、強制労働、おびただしい数の死者が際立っていました。これらの耐えがたい状況に屈することなく、ユダヤ人は生き延びるための - イディッシュ語ではイーバーレーベン (iberleben) と呼びます -

あらゆる努力を惜しみませんでした。人目のたたぬ多くの場所で若者による教育活動は密かに続けられ、人々は活発な政治活動に参加し、福祉や文化に繋がる組織が設立され、宗教活動に取り組み、ユダヤ人たちは、未来世代への証言として役立つようにと日記を書きました。ゲットーを取り囲む多くの人々から疎んじられ、冷淡視されることで彼らの孤立感はさらに深まるのでした。



ユダヤ人相互扶助会の公共食堂、ワルシャワ・ゲットー、ポーランド



埋葬のために死体置き場から屍を運んでいるユダヤ人墓地で働く少年
ワルシャワ、ポーランド 1941年9月19日



地理の授業 ポーランド、ウッチ・ゲットー

人として、なぜそのようなことができたのか

1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945

私は20歳。嗚呼、私を取り巻く世界の素晴らしさよ...
これが自分の最後の瞬間なのか？
復讐を！私の最後の願いを読んだ全ての人々が復讐してくれますように。

処刑前、ゲットーのユダヤ人が狩り立てられたシナゴークの壁に書かれた遺言
コーヴェリ (Kowel)、ポーランド 1942年



前線のドイツ兵から送られてきた写真。写真の裏面に書かれている文章：「作戦（Aktion）におけるユダヤ人、イヴァンゴロド(Ivangorod)、ウクライナ、1942。」
アメリカ合衆国ホロコースト記念博物館（ワシントンD.C.）

凶悪な転換期。1941年6月22日、ナチスドイツはソビエト連邦への奇襲攻撃を開始しました。この攻撃は第二次世界大戦の重要な転換期であり、ナチスに共産主義を体現した存在と見なされていたユダヤ人の運命にとって、それは致命的なものだったのです。この軍事行動はイデオロギーと人種という形の全面戦争として遂行され、一般市民への大規模な攻撃と、ドイツ人の

ユダヤ人に対する残忍な政策を特徴としていました。ドイツの特殊な移動抹殺部隊、アインザッツグルッペンは、ドイツ軍とその土地の共謀者から支援された警察と共に、ユダヤ人を彼らが住む町や都市の近隣に狩り立て、銃殺しました。このようにしておよそ150万人のユダヤ人が虐殺されたのです。



クライゴネフ (Kraigonev) ソビエト連邦 1941年
アメリカ合衆国ホロコースト記念博物館（ワシントンD.C.）



ミゾッチ (Mizocz)、ポーランド 1942年



ヴィーンヌイツァ(Vinnitsa)、ウクライナ 1941年7月
アメリカ合衆国ホロコースト記念博物館（ワシントンD.C.）

人として、なぜそのようなことができたのか

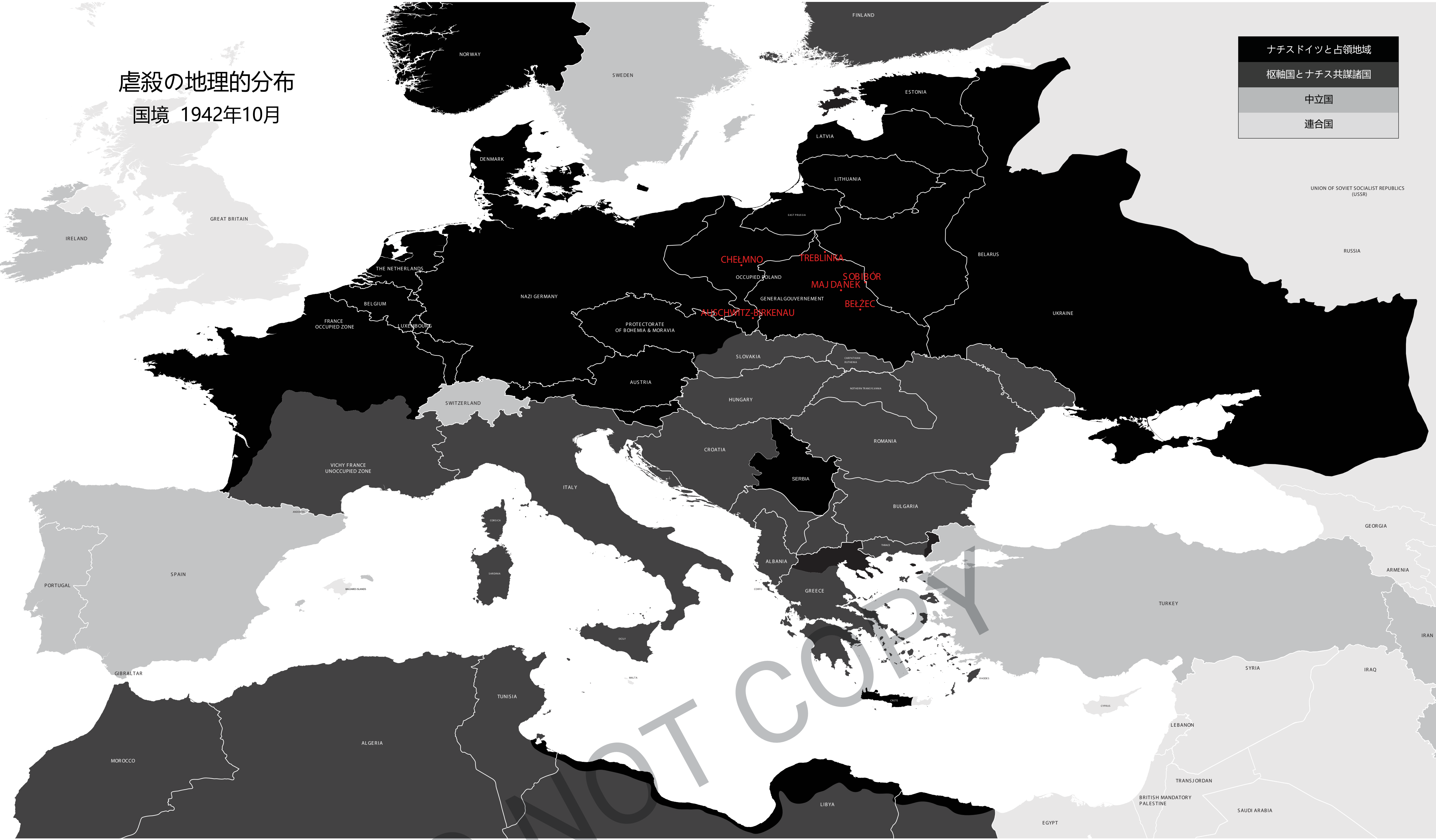
1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945

プウォンスク (Plonsk) ゲットー、1942年12月14日

明日、全て承知の上で、安らかな気持ちで、私達は大いなる未知へと向かう。生き延びる定めなのか、
そうだと良いのだが。
もしも、そうでなければ...

アブラメック、ポーランド

虐殺の地理的分布
国境 1942年10月



「最終的解決」：絶滅収容所への強制移送。1941年後半、銃による虐殺は、ナチスが「ヨーロッパにおけるユダヤ人問題の最終的解決」と呼んだ全体的かつ一貫した組織的計画へと展開しました。ナチスドイツはヨーロッパユダヤ人の完全な根絶を指示しました。この目的に向け、ナチスは政府、軍隊、ナチ親衛隊（SS隊/ナチ党のイデオロギー的な部隊）、警察、そして産業に渡り全組織を動員しました。共謀する政権とナチ占領下の地域住民もこの組織的ユダヤ人根絶計画に参加しました。ヨーロッパ中の何百万人もの

ユダヤ人が狩り立てられ、貨物列車で絶滅収容所（ユダヤ人が毒ガスで大量虐殺された施設）へと強制移送されました。この根絶計画遂行を通じて、ドイツ人は移動の真の目的について犠牲者たちを欺いていました。このようにして、およそ300万人のユダヤ人が、**アウシュヴィッツ-ビルケナウ、トレブリンカ、ベウゼツ、ヘウムノ、マイダネク、ソビボル**等の強制労働絶滅収容所で虐殺されました。1941年から1945年の間にヨーロッパ全体で600万人近くのユダヤ人が虐殺されたのです。



ポーランドのワルシャワ・ゲットーからトレブリンカとマイダネクの絶滅収容所へ向かう
1943年4～5月



ブルガリアによって併合されたトラキアからトレブリンカ絶滅収容所へ向かう
1943年3月



オランダのヴェステルボルク中継収容所からアウシュヴィッツ-ビルケナウ絶滅収容所へ向かう

人として、なぜそのようなことができたのか

1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945



ビルケナウ強制収容所の正門、ポーランド 1945年

アウシュヴィッツ-ビルケナウ。アウシュヴィッツはナチス占領体制に対する抵抗者を収監する強制収容所として設立されました。1942年から1944年までの間、この収容所もヨーロッパのユダヤ民族の主要な絶滅収容所になりました。ビルケナウ（アウシュヴィッツ II）において、ナチスはそれぞれに脱衣室、ガス室、死体焼却炉を備えた四つの大量殺戮施設を建設しました。ヨーロッパ中からユダヤ人がビルケナウに移送され、その多数が到着後、

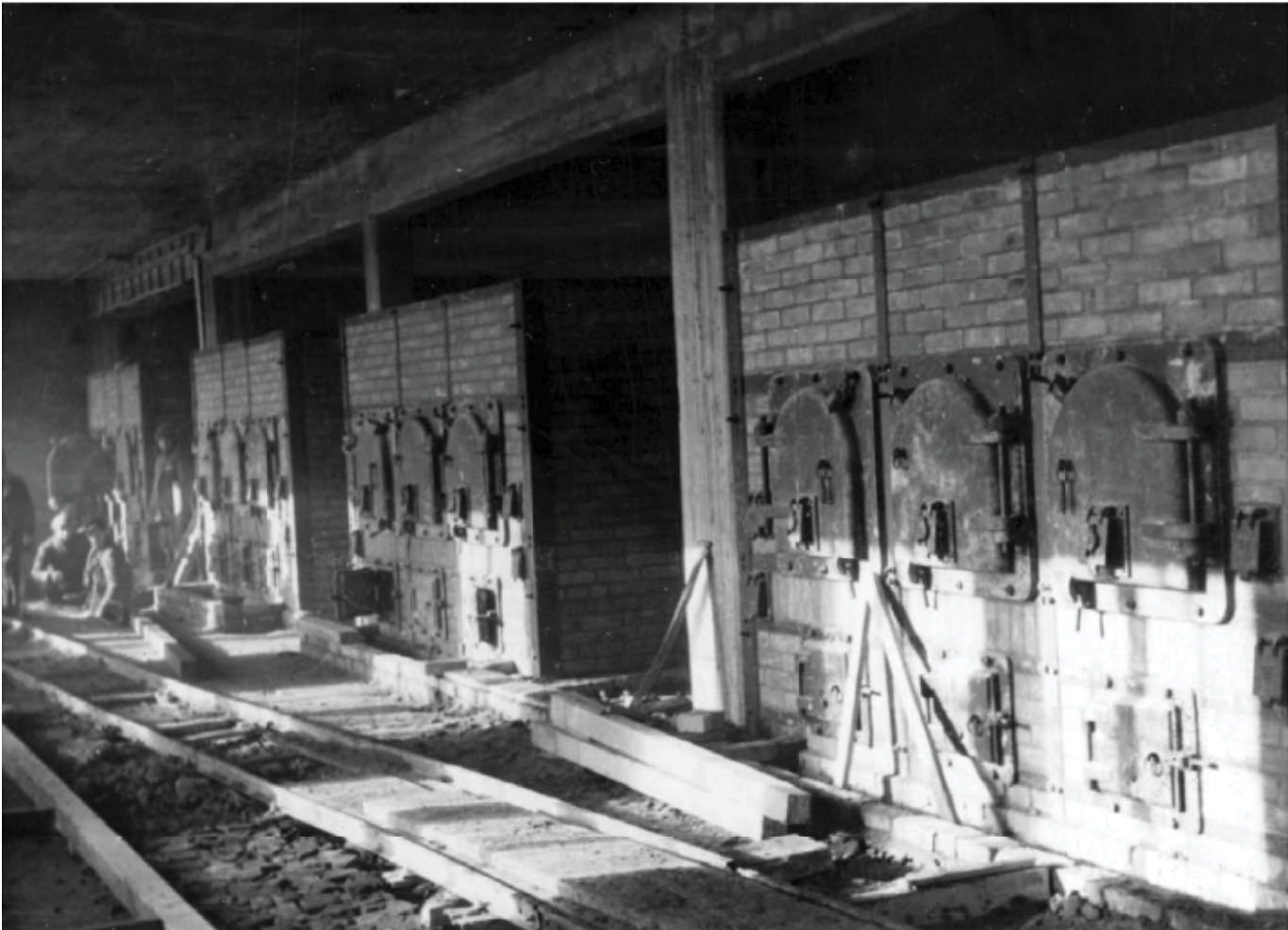
すぐに虐殺されました。選ばれたごく僅かな人々が収容所の囚人、奴隷労働者として生き残りました。およそ112万人に及ぶ人々が虐殺され、アウシュヴィッツ-ビルケナウは屈辱と殺戮を極めた絶対悪と人間の苦難であるホロコーストの象徴として記憶されています。虐殺された囚人のうち、およそ100万人がユダヤ人であり、20万人以上は子供達でした。



ドイツ人による選別プロセスを受けているハンガリーのカルパティア・ルテニア出身のユダヤ人
ビルケナウ 1944年5月27～28日



選別の末、処分が決められ、ガス室へ向かうユダヤ人女性と子供達
ビルケナウ 1944年5月27～28日



犠牲者、死体焼却用の焼却炉、ビルケナウのクレマトリウム（ガス室を備えた複合施設）III、1943年

人として、なぜそのようなことができたのか

1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945

やみくもに戦って死なないでください...私達は生命を守らなければなりません。
ドイツ人を殺すことよりもユダヤ人を救うことのほうが大切なのです。

トゥヴィア・ピエルスキ



トゥヴィア・ピエルスキ指揮下、家族キャンプのバルチザン兵士
ナリボキの森、ベラルーシ 1944年5月

ユダヤ人の反抗。ホロコーストの間、ユダヤ人は共に生きる多くの人々から自分たちが見捨てられていることに気付きました。その結果、自分たちにできる限られた選択肢から個人、かつ集団として抵抗する道を模索する事にしたのです。それは、潜伏、逃亡、社会福祉、宗教、文化に関わる活動、武力抵抗、他のユダヤ人救出作戦の計画、などです。ヨーロッパ全土で、所属によっては

ユダヤ人の参加を許可しなかったパルチザン活動（対独地下組織）に参加したり、ユダヤ地下組織を画策したり、ユダヤ人はあらゆる手法を用いてナチスと闘う人々を支援しました。ワルシャワ・ゲットーや他のゲットーでは、自分達が生き残る可能性はほとんどない、と理解したユダヤ地下組織は武力で抵抗しました。



ワルシャワ・ゲットー蜂起の鎮圧。ユダヤ人の抵抗者を逮捕する
ドイツ兵、ポーランド 1943年4～5月

ゲットーは最終的に全滅させられる事となり、地下組織は掩蔽壕や隠れ家に身を隠していた住民の支援を受け、武装蜂起を起こしました。ユダヤ人の蜂起を受け、ドイツ軍は整然とゲットー内の建物に火を放ち、すぐさま燃え上がりました。それにもかかわらず、ゲットーのユダヤ人たちは 1か月もの間、持ちこたえたのです。



De Crecheの子供達と看護師、アムステルダム オランダ
ユダヤ歴史資料館、アムステルダム オランダ

強制移送を指示されたユダヤ人の子供一時預かり所として使われていた養育園。園長であったヘンリエット・ヘンリクス・ビメンテルは、オランダのユダヤ人リーダー、ウォルター・ジュースキントと共にオランダ国内地下組織と連絡をとり、何百人もの子供達を匿いました。1943年、この養育園は一掃され、ヘンリエットと残された子供達はアウシュヴィッツ-ビルケナウ絶滅収容所に強制移送されました。

人として、なぜそのようなことができたのか

1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945



アンネ・フランク、アムステルダム オランダ 1940年
1942年7月、13歳のアンネ・フランクは オランダ人の友人たちに助けられ、家族や他の数人と身を隠しました。アンネは2年に渡り日記をつけ、自らの想いや心情を記しました。
1944年8月4日、裏切りを受け全員が逮捕されてしまい、アウシュヴィッツ-ビルケナウに移送されました。のちにアンネはベルゲン・ベルゼン強制収容所に送られ、1945年3月に虐殺されました。

ユダヤ人に対する社会多数派の姿勢。被占領国におけるユダヤ人の運命はドイツの政策だけでなく、社会多数派の姿勢によっても決められました。ユダヤ人が迫害と殺戮の対象であった暴力と恐怖の環境に対し、地域住民は様々なやり方で応じました。ドイツ人と共謀して虐殺に加担した人もいればユダヤ人を救った人もいました。多くの人々はユダヤ人の耐えがたい苦境を満足げに眺め、ユダヤ人情報を提供して利益を得たり、脅迫したり、財産を

略奪しました。多くの場合、地域住民はユダヤ人虐殺に対して冷淡な対応をしました。伝統と近代反ユダヤ主義の感情、ナチスによってもたらされた恐怖、体制恭順主義。これらが、殆どのヨーロッパ人をして、何世紀もの間共に暮らしてきた隣人であるユダヤ人に対する明白な罪を自覚しながらもそれを否定させたのです。



ルーマニア当局と地域の共謀者によるユダヤ人のトランスニストリアへの強制移送
ブライゼヴァ、ルーマニア 1941年



ユダヤ人女性を虐待するウクライナ人
リヴィウ、ポーランド 1941年7月



リトアニア国粋主義者に虐殺されるユダヤ人を見ているドイツ兵と地域住民
カウナス、リトアニア共和国 1941年6月27日

人として、なぜそのようなことができたのか

1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945

私達は、事務員、農民、労働者、学生、聖職者、尼僧などに従事する普通の人間であり、
行いは素朴でした。悪行を許すことは人として恥すべき事だったのです。

アナ バンドジャコバ・クチャロバ、スロバキア



ジュリー デバスト (Julie De Bast) と ミシェルン ヴィアチョウスキ (Micheline Wierchowski) ブリュッセル、ベルギー 1943
1942年、ジュリー デバスト は、ゲシュタポがユダヤ人の子どもたちを探すために急襲してきたという話を聞き、アンナ マイアーズ (Anna Meiers) と ミシェルン ヴィアチョウスキ
をカトリック施設から連れ出しました。二人の女の子は終戦まで偽名を使いジュリー (Julie) とジャン (Jean) の家に滞在しました。
1994年、ヤドバシェムはジャンとジュリー デ バストを諸国民の中の正義の人、と認定しました。

諸国民の中の正義の人。「諸国民の中の正義の人」とは、ホロコースト時代、自らの命を危険に晒しつつも、迫害されているユダヤ人を救った非ユダヤ人を指します。救出行為とは、隠れ場所の提供、保護を受けるための書類や外交査証を含む偽装書類の準備、逃亡経路の確保、ユダヤ人に国境を越え密入国させること、子供達を匿うことなどです。子供達は家族と一緒に、宗教指導者、聖職者、修道女の助けをかりて、養育園や宗教施設に隠れ場所を与えられました。救出に携わった人達は絶え間ない裏切りの恐怖の中で暮らしていました。西ヨーロッパでは、ドイツ人に逮捕され収容所に送られる危険に晒されていた

のです。東ヨーロッパでは、処刑の危険と家族に危害が及ぶ恐れに直面していました。「諸国民の中の正義の人」の行為は、ユダヤ人を救い、援助が可能であったという事実を証明しています。この事実は英雄的行為、人道的・道徳的行為、そして人間の生命の尊厳を守る模範について語っているのです。イスラエル国はユダヤ民族を代表して、自らの命の危険を冒してまでもユダヤ人を救った人達を諸国民の中の正義の人、として記念することをヤドバシェムに託しています。



オスカー シンドラー
Oskar Schindler
ドイツ



タティアナ ハルータ ゼレンスカ
Tatiana Chariuta Zelenska
ロシア



ピョートル アファナシエフ
Piotr Afanasiev
ラトビア



レアポン サハ
Leopold Socha
ポーランド



「如何なる者も一命を救う者は
全宇宙を救う」
諸国民の中の正義の人 メダル



ウジル ティサニエ
Odile Teyssendier
フランス



ゼネバア ハルダガ
Zajneba Hardaga
ボスニア



メトロポリタン クリストモス
Metropolitan Chrysostomos
ギリシャ



ラウル ウレンベルグ
Raoul Wallenberg
スウェーデン
Raoul Wallenberg Academy, スウェーデン

私の心の中には－なんとも奇妙なことに－憎しみはなく、ただ、ひどい苦痛、驚愕、そして途切れる事のない問いかけがある－
「なぜ？」

エリシェバ(エルザ) ビンダー Elisheva (Elsa) Binder

私達は常にどちらかの側につかなければならない。
中立であることは迫害者の助けとなり、決して犠牲者の助けとはならない。
沈黙は虐げる者を勇気づけ、決して虐げられる者を励ますものではない。

エリ ヴィーゼル Elie Wiesel

自分だったら似ている状況で同じ事に手を染めなかったであろうか、と完膚なき真摯さの中で問いかけない限り、人は他の誰をも裁くことはできないのだ。

ビクトール フランケル Victor E Frankl

人として、なぜそのようなことができたのか

1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945

私達にとってその勝利は遅すぎました。あまりにも遅すぎたのです。

シュムエル クラカウスキー (Shmuel Krakowski) ソ連軍によりテレージエンシュタット収容所にて解放される



イギリス軍による解放後のベルゲン・ベルゼン強制収容所の囚人、ドイツ 1945年4月15日

解放。北アフリカとヨーロッパのナチス支配からの解放は1942年後半に始まり、1945年5月の帝国（ライヒ）の最終的な崩壊までゆっくりと進みました。連合軍がドイツ支配からこれらの地域を解放した時には、すでにヨーロッパのユダヤ人の多くは虐殺されていました。終戦間際、前線が近づくと、ナチスは収容所からドイツ奥地へと囚人を移送し始めました。

解放の時が近づくにつれ、夥しい数の囚人が 飢餓と病に苦しみ、疲れ果てたユダヤ囚人たちは「死の行進」にて殺戮されました。収容所を解放した連合軍は目にした景色に戦慄しました。生き延びたユダヤ人は複雑な思いで解放の時を迎えます。ホロコーストの犠牲者にとって解放は遅すぎたのです。



救世主、1945年
ズィノビ トカチェフ Zinovii Tolkahev

1944年の夏、ユダヤ人芸術家であるズィノビ トカチェフ (Zinovii Tolkahev) はマイダネクとアウシュヴィッツ-ビルケナウの絶滅収容所を解放したソ連軍に従軍していました。トカチェフはこれらの収容所で自分が目撃した恐ろしい光景を描く一連の作品をスケッチし、色を塗りました。



アメリカ軍による解放後のダッハウ強制収容所の囚人、ドイツ 1945年



アメリカ軍兵士と解放された囚人
ブーヘンヴァルト強制収容所、ドイツ 1945年4月

人として、なぜそのようなことができたのか

1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945

私の人生は終わりから始まった。
最初に死を知り、
その後で ～ 誕生を知った。

ハリナ ビーレンバウム (Halina Birenbaum)、
ホロコースト生存者



囚人番号38364の入れ墨を入れたアウシュヴィッツの生存者のナタリー ビエジンスカ (Natalia Bierzynska) と幼い娘、ザビエジュフ (Zabierzow) ポーランド 1950年

生還。解放後、生きている家族を探しだす望みは多くの場合虚しく、ホロコーストを生き残った人々は生活の再建に力を注ぎました。多くは復讐しようとはせず、信仰と人間性への信頼を保ち続けました。家族と共同体の再建に取り掛かったのです。多くの生還者は今や広大な

墓場となり果てたヨーロッパを眺め、その地に住み続ける事を拒否しました。ホロコースト生存者の大多数は、ようやくユダヤ人として、そして人間として自由を手に入れられるのだ、という希望を抱き、イスラエルへ向かって移住したのです。

それは起こった。

すなわち、

それは再び起こるということ。

これが私達が訴えなければならない

何よりも大切なことなのです。

プリモ レビ (Primo Levi)

SHOAH ホロコースト

人として、なぜそのようなことができたのか

ヤドバシエムは、ホロコーストの文献資料、研究、教育、そして記念に関わる世界的な施設として1953年に設立されました。ホロコーストについて、ユダヤ民族の生きた追憶として、ヤドバシエムは過去の記憶を大切に守り、未来の世代にその意味を伝えます。



「名前の広間」、ヤドバシエム博物館、エルサレム、イスラエル

「名前の広間」はホロコーストの犠牲者の名前が永久に保存される場所です。ヤドバシエムは、犠牲者一人一人に「追憶の名前」を与えることにより、設立以来、この誓いを護ってきました。

本展示はヤドバシエム、ホロコースト記念館、移動展覧会課によって製作されました。
デザイン：Tarazi Studio